

東御市環境審議会第2回議事録

平成21年12月15日 午前10時

勤労者会館2階大会議室

【出席者】

(委員)

早武 基好副委員長、山浦 正芳委員、保科 恩委員、橋詰 武人委員、田中 益代委員、船田 信委員、成田 吉伸委員、柳沢 昌美委員、柳澤 幸徳委員、荻原 博行委員、多城 秀登委員

[欠席：花岡 洋会長、宮原 則子委員、田中 祐俊委員、田中 和弘委員]

(事務局)

山浦市民生活部長、土屋市民課長、白石クリーンリサイクル係長、小菅生活環境係長、生活環境係寺田主査

【配布資料】

- ・ 会議次第
- ・ 東御市地球温暖化対策地域推進計画（素案） 資料1

【議事】

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 審議事項
(1) 東御市地球温暖化対策地域推進計画（素案）について（審議）【資料1】
4. その他
(1) 今後の予定について 【資料2】
5. 閉 会

【審議事項】

(1) 東御市地球温暖化対策地域推進計画（素案）について

事務局

資料1に基づき全体を説明

【質疑・意見等】

山浦委員

非常に詳細な推進計画であると思う。東御市の温室効果ガス排出量の現状分析において、どのような資料や数値を使っているのか、一つの分野で結構なので説明して欲しい。

事務局

資料 P24 の部門別温室効果ガス排出量の運輸部門でご説明いたします。

国がもつ市町村別の統計データから保有台数を出し、燃料種別のそれぞれの排出係数をかけて排出量を算出しています。

国の統計データを使用するため 2007 年が直近のものとなります。

P45, 46 の補足説明

国県と市の施策による効果大・中・小の削減量について説明

事務局

国の施策が大きな影響をあたえます。市として他の自治体のお手本になるような計画になるよう検討委員会で提案されており、かなりハードルが高いものとなっておりますがザックバランなご意見をいただきたい。

船田委員

この計画は市民個人に啓発するものだと考えられます。

P40 の発光ダイオードについて、個人で取り組むには高価なものである。国の重点施策に対し、市としての補助は考えておられるか。

事務局

P39, 40, 41 の国の取り組み内容はまだ不透明な部分がある。国の施策が示されれば市としても検討していきたいと考えます。

住宅用太陽光発電の補助を例にあげれば、国は平成 17 年度に打ち切りましたが東御市は継続をしてきました。このように国の補助金が示されれば市も上乘せを検討することも考えられます。ただし、市単独で補助金を増やすことは財源の問題で厳しい面もあるが、環境政策として財源確保に努めることを担当サイドでは考えています。

早川会長代理

他にご意見等なければこの審議事項 1 番に関し、この委員会として了解したということによろしいでしょうか。

出席委員

異議なし

(2) その他について

事務局

今後のスケジュール（資料 2）について説明

生ごみの堆肥化、生ごみリサイクル推進について説明

生ごみの堆肥化、ごみの減量化も CO2 の削減につながりますので皆様のご協力いただければありがたいと考えます。

【決定事項】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進計画（素案）については異議なしとする。
- ・第3回環境審議会については、計画最終案の状況（計画の大きな修正の有無）によって開催を決定する。再度審議いただくような変更がなければ、答申と兼ねて第3回審議会を開催することも視野に入れながら決定する。